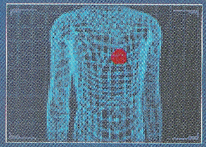
STORY **1-8**

手術No06

生か、死か

患者 松谷敏哉

TIME LIMIT 01:00:00



心停止状態で搬入された事故患者の手術を行なう。まずはタイムリミットの1分以内に心拍を蘇生させること。心拍が安定したあとは外傷の治療をし、異常が見られる胸部を切開、処置をしていく。なお、マックスバイタルが30と危険な状態での手術のため、バイタル確認を怠らないこと。

1 ヒールゼリーを塗り手で心臓をマッサージ

2 外傷の治療とガラス片の除去

大きな裂傷は縫合し、小さな傷はヒールゼリーで治療を行なう。ガラス片はバイタルを30近くまで上げてからピンセットで除去し、傷はヒールゼリーで治療すると安全だ。

3 開胸

4 ピンセットでガラス片を除去し、ヒールゼリーで止血

心臓に8個のガラス片が刺さっているが、一度に8個を抜いてしまうとバイタルが低下し、死を招いてしまう。ガラス片を2個除去し、ヒールゼリーで止血、回復剤の投与、と2個ずつ処置をしていけばバイタルの低下による死を防ぐことが可能だ。

5 ヒールゼリーを塗り手で心臓をマッサージ

6 ピンセットでガラス片を除去し、傷口を縫合

7 裂けた心臓を縫合



1、5
青い帯状の部分にヒールゼリーを塗り、黒いバーにあわせて手を動かして心臓をマッサージ。



4
8個のガラス片を除去しながら、ヒールゼリーで止血をする。バイタルの回復も忘れずに。



6
巨大なガラス片が心臓内部から浮きでてくるのでピンセットで抜き取りトレイへ移そう。





7
イベントで☆が出現し超執刀タイムに突入。時間の流れが遅くなるこのスキに縫合を行なう。

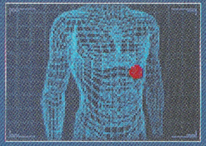
STORY **2-1**

手術No07

眠れる力

患者 石川次郎

TIME LIMIT 05:00:00



脾臓の血管内に老廃物による血栓が多数発生。栓塞を起こしているため、血管内の血栓全除去手術を行なう。局部エコーにて血栓の影を見つけ、ピンセットでクリッピングして動きを停止させる。その後血栓が停滞している血管を切開し、ドレーンで吸引を行なうこと。

1 スキャナで脾臓を拡大

2 スキャナで血栓を探し、位置を確定

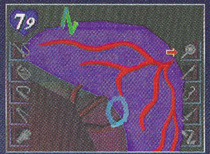
3 ピンセットで血栓をクリッピング

4 クリッピングした血栓部分をメスで切開

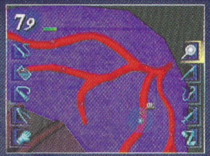
5 切開部分からドレーンで血栓を吸引

6 切開部分をヒールゼリーで治療

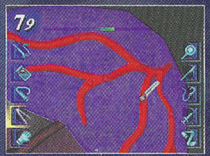
2～6の処置を繰り返し、まずは5つの血栓を取り除く。2の血栓の位置確定後から5の吸引までに時間がかかりすぎると血栓が流れてしまうので、速やかに吸引まで進めること。なお、血栓を5個取り除くと血流の変化によりこれまで停止していた血栓が一度に動きはじめてしまう。2～6の処置を繰り返し、7個の血栓の除去を行なうことになる。7個の血栓発生後すぐに超執刀イベントが入り、時間の流れが遅くなるので、慌てて血栓の処置を行なおうとせず、バイタルを安定させておこう。



1
どこを○で囲んでも拡大後の画面は同じ。描きやすい場所で○を描き時間短縮を図ろう。



2
血栓のある場所の確定が成功し、つぎの処置へ進めるようになるとOK！と表示される。



3
OK！のでた血栓が流れていかないよう、ピンセットでクリッピングをして動きを止めよう。



4
クリッピングした血栓部分の血管を切開し、ドレーンで吸引できる状態にしよう。



5～6
切開部分にドレーンを当てOK！がでるまで吸引。吸引後はヒールゼリーを塗ること。